



Sustainable Energy and Environment Forum (SEE Forum)

平成21年9月吉日

- International Symposium on Sustainable Energy and Environmental Protection (ISSEEP) 2009 -
第6回 SEE Forum への参加・協力をお願い

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当 SEE Forum に格別のご理解、ご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さてこの度は平成 21 年 11 月 23 日(月)－25日(水)の3日間にわたり京都大学、インドネシア・ガジャマダ大学、アセアン大学ネットワーク(AUN)、独立行政法人科学技術振興機構、文部科学省の共催で、インドネシア・ガジャマダ大学にて International Symposium on Sustainable Energy and Environmental Protection (ISSEEP) 2009 と連動して第6回持続可能なエネルギーと環境フォーラム(Sustainable Energy and Environment Forum; 略称 SEE Forum)および、「新エネルギーコンソーシアム(New Energy Consortium for Sustainable Environment; 略称 NECSE)」のワークショップを開催いたしますので、是非、御参画賜りたく、ここに招待状を送らせて頂く次第です。

昨年5月に SEE Forum がアセアン科学技術協力委員会+3(日・中・韓国)のカウンターパートとして文部科学省、独立行政法人日本学術振興会、京都大学が共催した、ASEAN COST+3 :New Energy Forum for Sustainable Environment (ASEAN プラス3科学技術委員会による持続可能な社会構築に向けた新エネルギーフォーラム、略称 NEFSE)では、新エネルギーイニシアティブに向けての人材育成と研究協力を焦点が当てられ、NECSE の設立が提案されました。更に、その後開催した第4、5回 SEE Forum では、研究連携推進のため Network of Excellences (NOEs)および各国 SEE Forum 設立を推進し、その結果、国際共同研究推進のための予算獲得にも繋がっております。

一方、我が国とアセアンとの科学技術協力は、アセアン科学技術協力委員会+3(日・中・韓国)の枠組みを通じた協力に加え、今年5月には第1回目の日・アセアン科学技術協力委員会(AJCCST)が開催され、こうした政府間の枠組みを活用して、本フォーラムを中心にオールジャパンでの今後の協力の一層の進展が期待されております。第1回AJCCSTでは、日・アセアン間での科学技術協力として、エネルギー・環境分野での共同活動を実施していくこととなりました。

以上の経緯に沿って、本会議は各国のエネルギー・環境に関連した産学官の代表者が集い、「新エネルギーイニシアティブ」の推進に向け、Network of Excellences (NOEs)や教育プログラムの具体化に向け議論する「場」を設ける計画です。つきましては、本フォーラムの趣旨をお汲みいただき、是非、参加頂きたいお願い申し上げます。

吉川暹

SEE Forum 代表

京都大学エネルギー理工学研究所

SEE Forum Secretariat

Global COE Secretariat Office, Graduate School of Energy Science, Kyoto University,
Yoshida-Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto 606-8501
Tel: 81-75-753-3307 Fax: 81-75-753-9176
E-mail: gcoe-office@energy.kyoto-u.ac.jp
<http://seeforum.uijin.com/>



Sustainable Energy and Environment Forum (SEE Forum)

Draft ver. 2

International Symposium on Sustainable Energy and Environmental Protection (ISSEEP) 2009

In conjunction with:

6th Sustainable Energy and Environment Forum (SEE Forum)

New Energy Consortium for Sustainable Environment (NECSE) Workshop

Indonesian Catalyst Society (MKI) Meeting

1. ワークショップ(シンポジウム)の概要・目的

我が国とアセアンとの科学技術協力は、アセアン科学技術協力委員会+3(日・中・韓国)の枠組みを通じた協力に加え、今年5月には第1回目の日・アセアン科学技術協力委員会(AJCCST)が開催され、こうした政府間の枠組みを活用して、今後の協力の一層の進展が期待されている。第1回AJCCSTでは、日・アセアン間での科学技術協力として、エネルギー・環境分野での共同活動を実施していくこととなった。

京都大学、インドネシア・ガジャマダ大学、アセアン大学ネットワーク(AUN)、独立行政法人科学技術振興機構、文部科学省の共催で2009年11月23日(月)から25日(火)の3日間にわたって International Symposium on Sustainable Energy and Environmental Protection 2009 (ISSEEP 2009) を共同研究の枠組みを議論する「第6回持続可能なエネルギーと環境フォーラム(Sustainable Energy and Environment Forum; 略称 SEE Forum)」、エネルギー・環境に関する人材育成ネットワークである「新エネルギーコンソーシアム(New Energy Consortium for Sustainable Environment; 略称 NECSE)」のワークショップ、ならびにインドネシア触媒学会とテクニカルセッションを連動させた形でインドネシア・ジョクジャカルタにて開催する。11月23日-24日(午前)はSEE Forum 活動および NECSE に関する人材育成を中心とした議論の場とし、24日(午後)-25日はテクニカルセッションとして関連する研究(①Clean energy, ②Waste treatment and environmental protection, ③rural energy, ④new and renewable energy, ⑤Energy and catalysis, ⑥Efficient and environmental friendly energy conversion process)に関する情報交換を行う。

2. 背景

地球温暖化が現実味を帯び、化石資源の枯渇が喫緊の課題となっており、二酸化炭素の排出抑制につながる新エネルギー開発は「人類社会の持続可能な発展」に直接関わる焦眉の急といえる。2008年の洞爺湖サミットでは、2050年までの温室効果ガス半減の長期目標を主要各国が合意し、新エネルギー開発に対する国際的な連携が強く求められる事となった。

このような要請に応え、新エネルギー技術の開発と新たなエネルギーシステムを各地域にふさわしい形ではぐくむためには、社会科学的な視点も交えた、広範な取り組みが欠かせない。特に、客観的な評価指標の基に、基礎から応用にわたる幅広いレベルの研究を進めると同時に、総合的な視野を持ったエネルギー・環境技術者の養成を施し、広範且つ学際的な研究領域をカバーできるような国際連携の仕組みは極めて重要であるといえる。

SEE Forum Secretariat

Global COE Secretariat Office, Graduate School of Energy Science, Kyoto University,
Yoshida-Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto 606-8501
Tel: 81-75-753-3307 Fax: 81-75-753-9176
E-mail: gcoe-office@energy.kyoto-u.ac.jp
<http://seeforum.uijin.com/>



Sustainable Energy and Environment Forum (SEE Forum)

3. SEE Forum 活動実績

地域共通課題である地球温暖化問題およびエネルギー安全保障問題解決のためグローバルに環境調和型エネルギーの導入を目指し、京都大学では21世紀 COE とこれを引き継ぐグローバル COE プログラム「地球温暖化時代のエネルギー科学拠点」に採択され、国際的な研究教育ネットワークである(1)SEE Forum (Sustainable Energy and Environment Forum)を組織し、アジア地域との強力な国際的枠組みを構築してきた。これに対して国内組織として(2)Japan SEE Forum を結成している。その取り組みが評価され、ASEAN COST+3 (ASEAN 諸国に日本、中国、韓国を加えた科学技術委員会)の枠組みにおいて(3)2008年5月、NEFSE(New Energy Forum for Sustainable Environment)会議を主催し、大学・研究機関コンソーシアムである(4)NECSE(New Energy Consortium for Sustainable Environment) の設立準備を ASEAN University Network (AUN)と協力して進めている。本事業の実施にあたり、京都大学が国内外関連機関のハブとなり連携協力を推進しており、AUN からは組織的な協力を得、各参画大学から適任者の推薦を基に事業を推進している。また、日本国内はエネルギー21COE を核とする Japan SEE Forum を結成して連携を進めている。

2006年以降、国際 SEE Forum 会合(5回)および Japan SEE Forum(3回)開催し、参画メンバーとの研究教育面での連携協力を推進している。特に、本年5月にタイ・バンコクで開催した第5回 SEE Forum では各国で優先度が高いテーマ(太陽エネルギー、バイオエネルギー、クリーンコール技術、エネルギー政策研究、小水力発電研究等)に分けた NOE (Network of Excellence) ラウンドテーブル会合を企画し、多国間での共同研究実施に向けた体制作りを推進している。

これまでに、二国間の共同研究では2009年度科学技術振興調整費・国際共同研究の推進「タイにおける低炭素排出型エネルギー技術戦略シナリオ研究」に採択され、具体的な共同研究を既に実施している。

4. 今後の展開

アジア諸国の経済発展は著しく、今後大きなエネルギー消費が見込まれる地域になり、地球温暖化問題に代表されるエネルギー、地球環境安全保障上重要な地域になることが予想される。本事業を実施することにより、アセアン地域を含むアジア地域においてエネルギー・環境を総合的に研究教育する体制が整い、国際共同研究の実施が推進されると共に、各地域の環境問題を実際に解決できる国外のエネルギー科学実務・教育者をアジア地域で効果的に育成することができ、地域ごとのエネルギー使用効率の最適化をはじめ新しい発展形態を探求することが可能となる。さらに、我が国との連携を強化することを通じて国際的な規模でのエネルギー・環境問題解決への貢献が期待され、我が国の科学技術・環境外交の推進に寄与するネットワークを形成と、これを通じた我が国の環境・エネルギー政策への域内の理解を浸透させることが可能である。日タイ二国間の共同研究およびNOE推進を通じて、アジア多国間での共同研究実施体制を構築し、各地域に適合した新技術のベストミックス策定に繋がる。下記に、本事業の年次計画を示す。

(2009-2011) SEE Forum内で多国間共同研究実施に向けた体制の整備と、先進ASEAN諸国間での共同研究の実施が開始される。また、京都大学とAUN間で交流協定を締結(2009年11月調印予定)し、NECSE活動を開始しユネスコ連携して、e-learningをツールとした単位認定可能なカリキュラムを実施する。またこれに連動し、講師派遣、統一カリキュラム作成、共同研究等の実施により、本ネットワーク参画大学にエネ

SEE Forum Secretariat

Global COE Secretariat Office, Graduate School of Energy Science, Kyoto University,
Yoshida-Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto 606-8501
Tel: 81-75-753-3307 Fax: 81-75-753-9176
E-mail: gcoe-office@energy.kyoto-u.ac.jp
<http://seeforum.uijin.com/>



Sustainable Energy and Environment Forum (SEE Forum)

ルギー・環境に関する教育者を特に育成する。

(2011-) 多国間共同研究の枠を後進ASEAN諸国に拡大し、本格的な域内共同研究を実施する。NECSEネットワーク参画機関の拡大と、これらの大学・研究機関でのエネルギー・環境専門コースの設立を本格化し、各国にて人材を育成できる体制を整備する。

(-2020) SEE ForumとNECSEをベースとしたエネルギー・環境教育研究拠点として、Institute of New Energy for Sustainable Environment (INESE:仮名)を設立し統一的な人材育成を推進するとともに、各国での環境・エネルギー政策への提言等を積極的に行う事で、本活動の社会的貢献をはかる。

5. ワークショップ(シンポジウム)の開催概要

目標

各国の研究者が自由に参加し情報交換を実施できるSEE Forumの枠組みを基礎に、エネルギー・環境技術に関する各分野のNOE(ネットワーク・オブ・エクセレンス)を形成することで共同研究協力を推進するツール構築を目的としている。更に、京都大学が主導でアジア発の大学・研究機関を中心とした国際組織であるNECSE(New Energy Consortium for Sustainable Environment)を整備し、組織的にエネルギー・環境分野に特化した人材育成を実施し、アジアエネルギー・環境教育研究拠点の形成を目指している。

開催時期:2009年11月23日-25日

場所:ガジャマダ大学(インドネシア・ジョクジャカルタ)

参加国と主な参加機関(暫定):ASEAN 10カ国、日本、インド等;(日本:京大(20名)、青山学院大学、東工大、佐賀大、名大、熊大、京都工芸繊維大、産総研、農環研、若狭湾エネルギー研究所、文部科学省、アジア:ASEAN University Network 21大学、JGSEE(タイ国エネルギー環境合同大学院大学)、インドネシアDiponegoro大、NSTDA(タイ国家科学技術開発庁)、LIPI(インドネシア科学院)等)

参加規模:200人

具体的な内容:別紙プログラム案参照

SEE Forum Secretariat

Global COE Secretariat Office, Graduate School of Energy Science, Kyoto University,
Yoshida-Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto 606-8501
Tel: 81-75-753-3307 Fax: 81-75-753-9176
E-mail: gcoe-office@energy.kyoto-u.ac.jp
<http://seeforum.ujijn.com/>